

製品名: シトクロム P450 1A2 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86962

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:200-1:500, FC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 58 kDa; Observed MW: 58 kDa

抗原情報

遺伝子名	Cytochrome P450 1A2
別名	CP12; CYPIA2; P3-450; P450(PA)
遺伝子ID	1544
SwissProt ID	P05177
免疫原	ヒトシトクロム P450 1A2 の合成ペプチド

背景

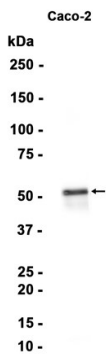
この遺伝子は、シトクロム P450 スーパーファミリーに属する酵素をコードしています。シトクロム P450 タンパク質はモノオキシゲ

ナーゼであり、薬物代謝やコレステロール、ステロイド、その他の脂質の合成に関わる多くの反応を触媒します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は小胞体に局在し、その発現は一部の多環芳香族炭化水素 (PAH) によって誘導されます。PAH の一部はタバコの煙にも含まれています。この酵素の内因性基質は不明ですが、一部の PAH を発がん性中間体へと代謝することができます。この酵素の他の生体外基質としては、カフェイン、アフラトキシン B1、アセトアミノフェンなどがあります。この遺伝子の転写産物には、3'非翻訳領域に4つの Alu 配列と、その両側に連続反復配列が含まれています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



シトクロム P450 1A2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Caco-2 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。